



月刊 労働千葉

国鉄千葉動力車労働組合

〒280 千葉市要町2番8号(動力車会館)

電話 (鉄電) 千葉 2935・2936 番
(公) 千葉 (22) 7207 番

91.9.19 No. 3464

新天皇、アキヒトはなぜ！あえひ！ 怒りずまにASEANに飛込むのか！

9.25 天皇アセアン訪問許すな！ 首都圏総決起集会へ

天皇のアジア訪問とアセアンへの飛込は一体

新天皇・アキヒトは、九月二六日からアセアン(東南アジア諸国連合)のタイ、マレーシア、インドネシア三国を訪問しようとしている。

戦前・戦後を通し日本の天皇として初めてアジア諸国に乗り込もうというのである。

自衛隊のカンボジア派兵、自民党独裁への道=小選挙区制を狙って開かれている臨時国会のまった中であえて怒り渦巻くアジアに乗り込むという事は、日本の戦後史を塗りかえる重大な攻撃であり、アジア人民への重大な挑戦である。

天皇は、この三国訪問を突破口に南朝鮮・韓国そして、中国にも乗り込もうとしているのである。
天皇が訪問しようとしているアジア諸国は、いずれもかつて天皇と日本帝国主義が侵略し、「殺しつくし、焼きつくし、奪いつくす」という「三光作戦」を展開し、三千万人もの民衆を虐殺してきたところであり、戦後も「謝罪」すら何ひとつ行っていないのである。
全アジアの民衆は、かつての日本の残

虐さを決して忘れていないし、激しい怒りをこめて天皇の乗り入れを弾劾している。
だから海部は、この春アセアン五ヶ国に莫大な札束を持って歴訪し、天皇訪問の露払いをしてきたのである。

アジア勢力圏化

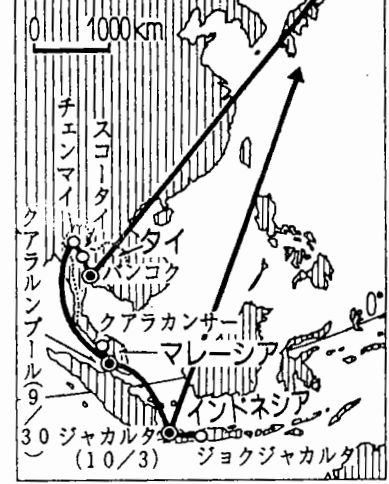
援助という名の搾取・収奪

開発の名による破壊

日本(帝国主義)は、この間、過剰資本、生産力の処理と自らの勢力圏化を企み、東南アジア諸国に対して大型プロジェクト



「日の丸」を掲げて
フィリピンを侵略する日本軍



天皇の訪問国

9月26日、東京発

10月6日帰国

新たな「大東亜共栄圏」への道を許すな！